

今後の予定

「フムフムあかつか Project」では、令和5・6年度の2年をかけて、地区の景観資源を活かした「景観まちづくり」に取り組んでいます。令和6年度もまちあるきなどを含め、4回程度の勉強会を開催し、「景観まちづくりプラン」の作成に取り組みます。

令和5年度	第1回	「赤塚地区のまちあるき」10月29日(日)開催 赤塚地区のまちを講師と歩き、歴史・地形・みどりなどの赤塚の魅力を楽しみながら勉強しました。(本ニュース p1 に写真・動画リンクを掲載)	済
	第2回	「地区を深める」12月5日(火)19時～ 場所:下赤塚地域センター 赤塚地区の魅力的なスポットや街並みについて話し合い、赤塚地区の理想の姿について考えました。(ニュース vol.4 で紹介)	済
	第1回アンケート (1月下旬～2月中旬) (ニュース vol.4 で紹介)		
	第3回	「地区の将来を考える」3月6日(水)19時～ 場所:下赤塚地域センター 赤塚地区の特徴を活かした、敷地と建物のデザインシミュレーションワークを行いました。(ニュース vol.4 で紹介)	済
	第4回	「地区の景観を調査する」6月15日(土)13時半～ 場所:下赤塚地域センター 色彩とみどりの2つのテーマに基づき、地区の状況をまちあるき調査しました。(本ニュース p2-3 に詳細掲載)	済
	第5回	「地区の景観の魅力を引き出す」8月6日(火)19時～ 場所:下赤塚地域センター 3Dのパノラマビューを使って、崖線からの見晴らしのよい風景や崖線を見上げた際の風景の魅力や活用策について考えます。(予定)	
令和6年度	第6回	「地区の景観ルールを考える」9月頃(予定) 場所:下赤塚地域センター 3Dのまちなみデザインツールを使って、地域の魅力を引き立てる建物・敷地のデザインを考え、地区にふさわしい景観ルールを話し合います。(予定)	
	第2回アンケート 景観まちづくりプランに関する地区アンケート(予定)		
	ワクワク1	ARツールを使ったまちあるきイベント(予定)	
	第7回	「景観まちづくりプランとりまとめワークショップ(※フムフム最終回)」 12月ごろ開催予定	
	ワクワク2	勉強会報告会・みどりに親しむワークショップ(予定)	

「フムフムあかつか Project」の勉強会の参加者を引き続き募集します

「フムフムあかつか Project」では、「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい！」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画の検討を行う勉強会を開催していきます。ご興味・ご意見などある方、専門知識がない方も歓迎ですので、ぜひ気楽にご参加ください。勉強会に参加をご希望される方は、電話・Fax・メールにて受け付けしておりますので、P1の問い合わせ先にご連絡ください。

赤塚四・五丁目地区 景観まちづくりニュース

Jul
2024

Vol.

5

令和5年度に引き続き、令和6年度も景観まちづくりの勉強会を開催しています！



板橋区は、赤塚四・五丁目地区の皆さんと一緒に、地区の景観資源を生かした「景観まちづくり」に取り組んでいきます。

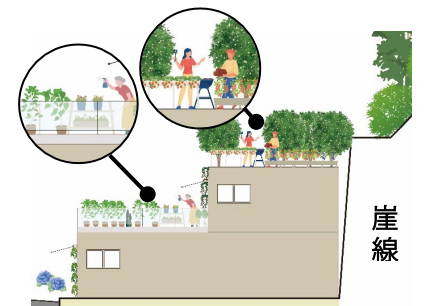
(令和5年度勉強会の様子)



第1回勉強会(まちあるき)



第2回勉強会(意見交換)



第3回勉強会(景観ワーク)



景観まちづくりプラン骨子(案)

令和5年8月から赤塚四・五丁目地区の景観の魅力について地域のみなさんに楽しみながら知ってもらう、「**ワクワクあかつか Project**」を始めました。また、同年10月からは景観まちづくりに関する勉強会「**フムフムあかつか Project**」も進めています。現在まで、まちあるきやワークショップなど計4回の勉強会を開催し、参加者のみなさんと地区の景観の魅力や課題について意見交換を行いました。

この勉強会では、「赤塚四・五丁目地区の景観がこうなってほしい！」という皆さんの思いを形にし、実現していくための計画を検討していきます。ぜひ気楽にご参加ください！

第1回勉強会でのまちあるきの様子を動画で紹介しています。以下の二次元コードからご覧ください！(詳細はニュース Vol.3 をご覧ください。)

公開期限:令和7年3月31日まで
※無断転載はご遠慮ください。

みどりコース



地形コース



「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン」の検討を行っています。

勉強会に参加した皆さんの意見をもとに、「赤塚四・五丁目地区景観まちづくりプラン骨子(案)」を作成し令和6年3月に配布を行いました。

今年度は、地区の景観のルールや取り組みアイデアについて具体的な検討を進めていきます。令和6年6月15日に開催した第4回勉強会「**フムフムあかつか Project**」では、色彩やみどりの配置についてのルールを検討するために専門家をお招きし、参加者自ら調査員となって地区内の色彩やみどりを調査するまちあるきを実施しました。

※P2・3に当日の内容を掲載しております!!

板橋区の景観まちづくりに関する問い合わせ先

板橋区 都市整備部 都市計画課 都市景観係
tel.03-3579-2549(直通) fax.03-3579-5436
email:t-keikan@city.itabashi.tokyo.jp



まちあるき調査を通して赤塚らしい景観のあり方を考えました！

「みどり」と「色」の2つのテーマによるまちあるきの実施

講師の方にレクチャーを受けながら、色彩やまちなかのみどりについて調査するまちあるきを実施しました。

まちあるき調査の結果は、デジタルアーカイブマップとして公開しています。ぜひご覧ください。

色彩コース

赤塚カラーを探そう



講師

加藤 幸枝 さん
有限会社クリマ
代表取締役/
色彩計画家

みどりコース

まちなみ園芸を探そう



講師

杉崎 和久 さん
法政大学法学部/
大学院公共政策
研究科 教授

色彩コース 地域色“赤塚カラー”を探そう！

講師から、色彩を測るものさしがあること、それらを使って赤塚らしい色を探しましょう、とのお話を聞いた後、まちあるき調査に出かけました。途中、地域の方のご厚意で敷地内にも入らせていただく(屋外の木製トイレ小屋を見学)など、わいわいと楽しみながら調査を行いました。

色を測るものさし『色見本帳』



その土地で取れる自然素材で家が作られると調和が図られるもので、その変遷が見られると思います。

日常生活の延長上に色があり、その面白さを発見してみてください。



今では貴重な土壁の蔵など、気になる“赤塚カラー”をどんどん測っていきました。

ガードパイプの色も気になって、つついっ測ってしまいます。



赤は「明るい」が語源と言われています。魔除けや祈願する際の象徴として、鳥居などには鮮やかな赤が用いられています。

参加者の意見

同じような色でも近隣の色が異なると、感じ方も変化する。

色同士が調和していると、落ち着いて見える。

自然のものは色が混じっているから周囲になじみやすい。

色をものさしで測ると、目で見た印象より濃い色であることが分かった。

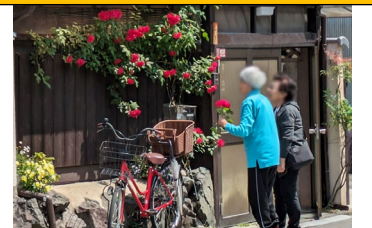
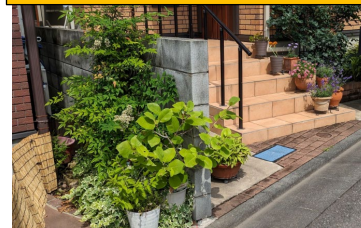
みどりコース 地域のまちなみ園芸技術を収集しよう！

まちにおけるみどりは大きく分けて2つあります。公園や公共施設などの公有地におけるみどりと、住宅や農地などの私有地のみどりです。

赤塚四・五丁目地区では農地のみどりはもちろん、住宅にみどりが多いことが特徴です。住宅のみどりにも大小ありますが、小さなみどりがもたらす効果に注目してみましょう。



通り際の小さなスペースで園芸を楽しむ(まちなみ園芸！)



道行く人に手入れしたみどりを見てもらいたいという気持ちで始めた個人的な園芸が、ご近所のコミュニケーションを生んだり、景観に彩りを与えています。

まさに、ひとりひとりの営みがまちなみを育んでいるのです。

コミュニケーションが生まれる

まちあるきでは小さなみどりである「まちなみ園芸」技術を収集しました！



収集したまちなみ園芸技術をもとに、地区で実践したいまちなみ園芸やその効果について話し合いを行いました。

講師のレクチャーのもと、約1時間のまちあるき調査を遂行しました。参加者の皆様からも質問やコメントをたくさんいただきました。

参加者の意見

自動車を手放した高齢者が駐車場を活用してみどりを育てている。空いた土地をうまく使えるとよい。

高齢の方が生きがいや趣味として園芸を楽しんでいる。楽しみがももて景観もよくなるというのは素晴らしい。

保存樹を大切にしたい。何かよい取り組みが考えられないか。

まちあるき調査の様子をまとめた3Dアーカイブマップはこちら



バージョン①のイメージ

バージョン①
【建物の形が表示されます。※データが大容量となります。】



バージョン③
【3Dアーカイブマップを画像で確認できます。データ容量や3D操作に不安がある方はこちらをご覧ください。】

バージョン②
【建物の形の表示がありません。バージョン①よりデータ容量が少なくなっています。】



※利用にともなう通信料は、利用者負担となります。大容量データのため、Wi-Fi等の通信環境が整っている状態での閲覧を推奨します。